

令和2年第8回東近江市教育委員会（臨時会）会議録

日 時 令和2年12月23日（水） 午後2時30分 開会

場 所 東近江市役所 東庁舎 D会議室

出席者

教育長	藤田 善久	教育長職務代理者	綾 康典
教育委員	青地 弘子	教育委員	篠原 玲子
管理監（学校教育担当）	三輪 光彦	教育総務課長	中西 美智代
学校教育課参事	谷村 昌則	事務局（教育総務課長補佐）	中野 里栄子

以上 8名

事務局 開会

教育長

ただ今から、令和2年第8回教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

今回の会議録署名委員は、「綾委員」と「篠原委員」を指名させていただきますので、よろしくをお願いします。

「令和3年度使用東近江市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択の一部変更の議決を求めることについて」担当から説明をお願いします。

（学校教育課より説明）

学校教育課参事

夏に令和3年度から使用する教科書の採択をお願いしたところですが、先日、文部科学省、滋賀県教育委員会から特別支援学級使用の一般図書の一部が供給不能という連絡をいただきましたので、それに変えまして新たに選びました図書の採択をお願いしたいと思っております。

議案にもありますように、1番目、小学校特別支援学級教科用図書6年生社会科、変更前は「子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶ学ぶよのなかの図鑑」小学館、これを変更後、「絵で見る日本の歴史」福音館、2番目に、中学校特別支援学級教科用図書1年生英語科、変更前が「JUNIOR COLUMBUS 2 1 Book1」光村図書、変更後、「くもんのはじめての英会話じてん CD つき」くもん出版、3つ目に、中学校特別支援学級教科用図書2年生英語科、変更前は、「JUNIOR COLUMBUS 2 1 Book2」光村図書、変更後、「親子で始める英会話絵じてん2ふだんの場面編」三省堂と変更をお願いしたいものでございます。

まず初めに、小学校6年生社会科について説明をさせていただきます。今も申し上げましたように、「子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶ学ぶよのなかの図鑑」小学館が供給不能となっております。この本でございます。

この事態を受けまして、小学校特別支援学級用図書の調査研究部長であります能登川東小学校の井上校長先生の意見も聞きつつ、当該図書がこの図書が採択された時の次点の図書であります「絵で見る日本の歴史」福音館です。これを代替として選定したいと思います。

学校教育課参
事

理由としましては、まず、滋賀県教科用図書第3採択地区の採択要綱4、その他(四)に次のように取り決めがございます。

年度途中において採択済教科用図書が廃盤になるなど供給不能となった場合は、本年度協議会会長の許可を得て、当該図書採択時に協議会で次点となった図書を代替として選定し、教育委員会で採択すると書かれております。この度、供給不能となりました小学校の「よのなかの図鑑」は平成30年度に採択されました。その時、次点になったのがこの福音館の「絵で見る日本の歴史」です。この本は、「よのなかの図鑑」が採択されるまで、特別支援学級、小学校6年社会で採択されていました。

当時の資料によりますと、この図書は、①我が国の歴史が時代ごとの一枚の絵に大まかにまとめられており、人々の生活は時間とともに移り変わってきたことがよくわかる。

②に、漢字にはすべてふりがなが付けられており、読みやすい。配列や分量も適切である。

そして、④に、その時代に生きた人々が生き生きと生活する様子が描かれていて社会への理解と関心を深める内容となっており、表現や表記も適切であるなどと評価されています。また、後ほど、御覧になっていただければいいのですが、このような感じで、1つの絵になっておりまして、下に説明が載っております。詳しい説明が後ろの方にあり、その時代の様子のことが書かれております。

この本は、発行が1985年とやや年数が経っていますが、版が重ねられていることから長年にわたって評価されているとも言えます。

第3採択地区では平成22年度に採択され、平成23年度から使用されてきました。

「よのなかの図鑑」を採択した大きな理由は、今まで歴史の学習だけだったのですが、歴史だけではなくて、児童が生きて行くために必要な国や社会のしくみや社会の決まりなどがこのよのなかの図鑑にはいろいろ興味深く載っております。そういうことが示されていることが理由だったのですけれど、その部分についてはやむを得ない、歴史の学習ということになりますけれども、歴史の学習という観点では決してふさわしくない本ではありません。こうした理由から、令和3年度使用特別支援学級使用の一般図書、小学校6年生社会としてこの「絵で見る日本の歴史」を採択していただきたく提案をいたします。

ちょっと委員に見ていただこうと思います。

各委員

(閲覧)

青地委員

変更後の図書は1985年発行ということでしたが、前に、採択された方は発行はいつだったのでしょうか。

学校教育課参
事

発行は2014年です。

青地委員

これがちょっとわからないです。供給が必要なのですが、需要がなかったということなんでしょうね。なぜ、このようなことになるのかわかりません。

一人一人、個性を持つ子どもたちにとって、いろんな切り口でいろんな世界に入ることができるという意味では、確かにあちらの方も素晴らしいと思うんですけども、良い本

青地委員	だなどと思って楽しみにしていたのが、こんな短い時間で廃版になるということがちょっと残念でなりません。
学校教育課参事	今年度は出版社には問い合わせしていないのですが、問い合わせますと「在庫はあります。」という答えが返ってきます。でも、文部科学省は供給不能だと言い、リストが送られてきて、このリスト中になければ採択できません。」と言われます。
教育長	文部科学省が基準として取り扱っているのが大きいのでしょうか。滋賀県くらいが使用している冊数なら十分いけると思いますが、国全体のパイでみるとかなりの部分を持たないと供給不能という判断をされるのだと考えます。
学校教育課参事	それと、もう1つ、夏にすべて採択をしていただくときに、全部の図書について、各出版社に全部、問い合わせます。「供給ができるのか。」と問い合わせます。出版社からは「いずれも供給できます。」という声をいただくのですが、この時点になっていつも供給できないというような連絡をいただくので困ります。
教育長職務代 理者	こういう場合は、ペナルティみたいなものは、あるのでしょうか。例えば、今回だったら、小学館が翌年度、この教科用図書採択には入れないとか。
篠原委員	出版社のミスではないということではないでしょうか。
教育長	そういうことです。それはこっちが選んでるだけなので。
教育長職務代 理者	一般図書を選んでるだけということですか。
学校教育課参 事	<p>これが文部科学省からのリストなんですけれども、小学館だけでこれだけあるのですが、この中に載ってないのがあります、その度に毎年、採択しないといけないことになります。</p> <p>このシステムにつきましては、ちょっと後で、今後このようにしていきたいことを言わせていただこうかなと思っています。よろしいでしょうか？</p> <p>では次に、中学校の英語を説明させていただきます。中学校の英語は、現在、中学校1年生で JUNIOR COLUMBUS 2 1 Book1、2年生で JUNIOR COLUMBUS 2 1 Book2、そして、3年生で三省堂の親子ではじめる英会話絵じてん1を採択しております。</p> <p>昨年の12月に以前は1年生はこれで、2年生は1、2のセットを採択しておりましたが、セットが廃盤になりましたので、ただ1冊だけだったら採択できるということだったので、この1冊だけを採択としておりました。ところが、今回供給不能となりました。</p> <p>そこで、安土中学校の法山教頭先生が調査研究部長をしていただいておりますので、その法山教頭先生といろいろ相談をしながら、そして、このリストの中にないと選べませんので、そのリストの中から選びました。</p> <p>1年生の方はくもんのはじめての英会話じてんを選びました。その表にもありますが、どちらももう一つの候補として、その小学生の英語レッスン絵で見て学ぼう英会話という</p>

本と比べながら、選ばさせていただきました。どちらの本も日常生活の中の会話表現を場面ごとに簡単な英語文でやり取りできるようにまとめられており、学習指導要領にも沿った内容となっています。全ての英会話の場面がイラストで表現されていて、会話の内容がイメージしやすくなっています。こちらのくもんの方は1問1答式になっています。こちらの方はシチュエーションで、鬼ごっこ、かくれんぼ、その時に鬼ごっこをしよう、君が鬼だ、捕まえるぞみたいな表現、シチュエーションが設定してあり、それについての会話で進んで行くというような形になっています。

今見ていただいているくもんのはじめての英会話じてんCDつきは発音のカタカナ表記が、小さく見にくいのですが、身近な日常生活の中の会話表現を1場面1対話の形でまとめてあるため、非常にわかりやすくなっています。また、辞書のような形にコンパクトにまとめてあるため、生徒自身で日本語から英語表現を調べるといったような学習もできるように考えてあります。

今も申しましたように、場面でどのような会話があるかというような形で、決して悪い本ではないですし、ちょうど小学校6年生から上がってきた中学1年生の特別支援学級の生徒には良いと思うのですが、1つやはり気になっておりましたのは、表紙に小学生のという表記があるということで、一定配慮が必要になるように思います。また、そこにこだわるお子さんが居た場合には、なかなか使用が難しいと感じました。

こちらのくもんの方は小学生からと小さく書いてありますが、小学生からですので良いと考えました。

次に、2年生の方ですけども、2年生は先ほど見ていただきました小学生の英会話と、もう1つ、3年生で使用しています英会話絵じてん1のらくらくひとこと編2になるんですけれど、ふだんの場面編というのを2年生でと思います。これが先ほどの小学生そちらも見ていただいた英会話とよく似た感じでシチュエーションの英会話になっております。1日の出来事、授業中、どんな会話があるかとかランチタイムはこんな会話かなということがあります。3年生で英会話絵じてん1、2年生で英会話絵じてん2となりますので逆ではないかという話になりますが、特に、1をやってやってから2を学習するというような順番はございません。英会話絵じてん2の方はそういうシチュエーションがあるということです。

英会話絵じてん1は、例えば、挨拶なら挨拶だけでまとめてある、尋ね方で時間とか天気を尋ねるときの尋ね方というような形でまとめてあります。

2学年の教科用図書には親子ではじめる英会話絵じてん2ふだんの場面編を推薦をさせていただきます。全ての英会話の場面がはっきりとした色調のイラストで表現されており、会話の内容がイメージしやすくなっています。親子ではじめる英会話絵じてん2ふだんの場面は、3年生で使用している同系列で言葉の場面ごとに英会話表現が紹介されております。この2冊を2学年に渡って使用することによって、英会話の表現を継続的、効果的に学ぶことができると考えております。

今回このような緊急の形でしたので、各市町で協議会を開くことができませんでした。そのため、各市町の教育長と事務局員にも同じ説明をしてきましたけれども、先ほど言いましたように、これが1でこれが2で順番が逆になっているのではないかという意見や見ようによってはレベルが高い部分もあるのではないかという意見がございました。それで、今回はこのように採択をさせてもらいましたけれども、来年度、再来年度、特別支援学級

学校教育課参
事

の一般図書だけを採択するのは、次に、小学校の採択がありますのは3、4年後にあるかと思いますが、それまでは特別支援学級の本をまた、採択していただくことになるのですが、その時に他の地区は第1地区大津とか第6地区高島はどのようにされているのかを調べましたところ、うちは1年生はこの本、2年生はこの本、3年生はこの本ときちんと1対1で対応させてもらっているのですが、他の市町を見させてもらいますと、順番を決めないで、中学校の生徒が使う英語の本をこれとこれとこれと言うふうに採択されています。学年の縛りをつけないで、そういう採択の仕方を一気ににはできないと思いますけれども、少しずつしていくようにすれば、担任の先生がその子どもの様子を見て、ここから始めることが良いかなとか、これから始めるのが良いからとか選択の幅も広がると考えておりますし、また、他ところを見てみますと、うちは3学年ですから3冊しか採択していないのですが、4冊、5冊と採択されていて、その中から選べるようにされています。

例えばこの本のここは気にはなるけれども、内容的にはこれとこれと合わせたような内容で決して悪いものではないので、これも同じように採択をしておいて、気にならない子には使ってもらおうというように選べる幅を広げるような形で採択するというのも、今後、工夫をした方が良いのではないかということも議論になっておりましたので、その当たりも進めていければと思います。以上でございます。

教育長

ありがとうございます。どちらかというと従前の方が良いと思ったわけですが、供給不能ということなのでこのままではいけないので、やむを得ず担当の先生に相談をして選定していただいたということです。採択についてまず御意見をお聞きしたいと思いますので御意見ありましたらお願いします。

篠原委員

今、ちょっとお話がありました何冊か採択しておいてということは可能であるならば来年度そうすることは無理ということですね。

学校教育課参
事

そうですね。いろいろ変更を要することがありますので、準備ができておりません。

篠原委員

変えるとするなら再来年ですか。

学校教育課参
事

来年の採択からですので、再来年度からとなります。

篠原委員

中学校の学習指導要領来年度から変わると思うんですけど、その段階で切り替えれたら思いはありましたけど、もう無理だということだったらそうですね、やっぱり英語なんかは特に差が出てきていると思うんですよね。この中学生になったときに選べたらなーと思いました。

学校教育課参
事

その子にあったものを選べると良いと思いますね。

篠原委員 小学校の普通の教科もそのような採択を他の地区はされているのですか。

学校教育課参事 いえ、普通の教科書については教科書会社1社に絞る形となっています。

篠原委員 学年ごとに1年、2年とそれぞれ決めるのは一緒なのですね。特別支援の方用のはということですね。

学校教育課参事 一般図書を選びますので、それは一緒です。
ちょっと言い忘れてましたが、この本を選んでいるの市町は、リストにあがっているものから採択されていますので、大津市、草津市、高島市はこれを使っております。

教育長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。では、「令和3年度使用東近江市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択の一部を変更する議決を求めることについて」、御承認いただけますでしょうか。

各委員 (異議なし)

教育長 それでは、「令和3年度使用東近江市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択の一部変更の議決を求めることについて」については、原案どおり可決いたします。
毎年、このようなことが繰り返されていますので、もう少し、滋賀県教育委員会とも相談をかけながら、ぎりぎりのところでこのような調整をいたしますと十分でない選定になりますので、あまり良くないという印象を持っておりますので、そういうことのないような形を取れるよう柔軟な対応を相談しながら変えていければということで、今年、本市が事務局ですが、来年度は竜王町が事務局となります。竜王町にそのような引き継ぎをして参りたいと思います。
以上をもちまして、令和2年第8回教育委員会臨時会を終了させていただきます。ありがとうございました。

会議終了 午後3時

会議録署名委員

会議録署名委員

教 育 長
